



# 高原の牛はミルクたっぷり

私たちが毎日飲んでいる牛乳は、牧場にいる牛からしぼった乳で  
つくられていて、元気なからだをつくるのにかかせない飲み物です。

場所 高知市立昭和小学校 探検日 平成22年11月 内容 親子牧場体験学習



牛乳を出す牛は、子牛を生んだばかりのお母さん牛です。乳をしぼるのは1年のうち300日ぐらいで、  
その間、毎日25kgほどの乳を出しつづけます。



探検場所  
高知市

ちち  
乳しぼりのコツ  
はあるかな？





1 オリエンテーション



2 しゃしん まじ 絵や写真を交えて牛の体について学びました。



3 ほにゅう こうしかんさつ 哺乳・子牛観察



4 した 大きい舌が、べろっと出て、ビックリ!



チェック

牛乳はバランス食

牛乳には体に必要な栄養がバランスよくふくまれています。とくにカルシウムは吸収しやすい形になっているので、骨や歯の成長に役立ちます。

**たんぱく質**  
血や肉になる

**脂質**  
エネルギーになる

**カルシウム**  
骨や歯を作る

**ビタミンA**  
皮ふをきれいにたもち  
かぜなどにかかりにく  
いからだにする

**炭水化物**  
エネルギーになる

**ビタミンB**  
からだの成長を  
助ける



発見

食肉牛と乳牛のちがい

牛には、肉として食べられる牛と、ミルクをとるための牛がいます。乳牛としてよく知られているのは、白と黒のぶち模様のホルスタイン種です。高知県では、高原を利用した食肉牛の飼育がおこなわれていて、「土佐赤牛」として売られています。

ホルスタイン種



とさあかうし  
土佐赤牛